

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・タスポカードの導入により、たばこを店頭で買う客が増加している。ついで買いも見られ、売上は堅調に増えている。ただ、利益に対する貢献度は低い。
	やや良く なっている	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・売上は前年比123%、宿泊客数も同119%と、5月に引き続き好調に推移している。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・携帯電話の新機種発売に合わせ、客からの問い合わせなどが増加傾向にある。また、新料金プランの発表で照会件数や来客数が増加し、スタッフ1人当たりの稼働時間が増えてきた。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン減税の期限接近、原油高騰による価格上昇、ローン金利の上昇などから、景気に敏感な客が動いている。
	変わらない	スーパー（店長）	販売量の動き	・客は値上げにも慣れ、買物態度にも落ち着きが見られる。しかし、無駄な物は買わないという態度は変わらない。また、同じ商品であれば、価格の安いプライベート商品を選ぶという傾向も徐々に見受けられる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・チラシやメモを持参している買物客が以前より多くなっている。無駄な物を買わない、少しでも安い物を買いたいという強い姿勢がうかがえる。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・タスポカードの導入により、来客数は前月に比べ30%増加し、たばこの売上は前年比40%増と好調に推移した。しかし、パンを中心とした中食の落ち込みが大きく、売上全体では同5%の増加であった。最近では記念硬貨や古銭、古いビール券での買物が散見され、客の財布の中身は厳しくなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車が発売されたにもかかわらず、来客数はあまり変化していない。
		その他専門店【医薬品】（営業担当）	販売量の動き	・ガソリン価格の値上がりにより、客の来店頻度は減少したが、買上点数が増えたため、売上では微増となっている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・回転ずしの一部メニューで値上げをしたが、来客数、客単価にほとんど変化はない。マイカー客の減少も見られない。
一般レストラン（スタッフ）		来客数の動き	・ゴールデンウィーク後の来客数は平日も土・日曜日も前年比95～97%程度で落ち着いてきている。サラリーマンのリピーター客の回数が減ったように感じる。極端な落ち込みもないが、回復の兆しもない状況である。	
都市型ホテル（スタッフ）		来客数の動き	・レストラン利用客の低迷が続き、客室の稼働状況も伸び悩んでいる。全体的にみても引き続き低調である。	
競輪場（職員）		お客様の様子	・車券の1人当たり購入額はほぼ同額であった。	
住宅販売会社（従業員）	それ以外	・大型の契約に支えられ、住宅新築契約額では前年を上回ったが、戸数ではほぼ横ばいで推移した。見込み先リスト数も少なく、他社との競合がますますきつくなっている。		
やや悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・年々、セール時期は前倒しになっているが、盛り上がりは感じられない。	
	一般小売店【書籍】（従業員）	販売量の動き	・値上がりする商品が多く、販売数の落ち込みが毎月続いている。	
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・客の価格に対する意識が高まっている。購入を意識した商品でも、単価の低い物を選択することが多い。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の財布のひもは依然として固く、生活防衛のパートナーは変わらない。最近、靴やアクセサリーの修理が多くなってきた。新たに購入するより、修理して何とか使い続けようという姿勢が感じられる。	
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数が前年の9割に減少し、店頭の状況が厳しい。	
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・ガソリン価格の高騰により、客の外出機会が減少している。特に買物では遠くまで出かけず、近場で済ませている傾向が見受けられる。	
	スーパー（営業担当）	お客様の様子	・ガソリン、食品の値上げにより、客は従来以上に特売品に対する関心が高く、また不必要な物は買わない。	

	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ガソリンを始めとする諸物価の上昇に伴い、客の消費に対する姿勢は消極的になる一方である。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数は横ばい状態だが、1回の買物での買上点数は減っており、内容的にも安物を買う傾向が強くなっている。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・異業種ながら、大型倒産や連鎖倒産、廃業が相次いでいる。客の話題もこのニュースに関連して暗い内容が多い。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・販売台数は前年比ほぼ横ばいで推移しているが、ガソリン価格の値上げや車両価格の上昇により弱含み状態である。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・郊外の大型店舗にとって隣県も大切な商圈だが、ガソリン価格の高騰により大幅な集客減を強いられている。また、高単価の店舗では物価高で節約を心掛けている主婦層に敬遠され、ランチの集客も厳しい状況である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・売上は例年に比べ1割程度多いが、同業者を含め来客数の減少が目立つ。客の洋品店経営者からも来客のない日があるという話が聞かれ、周辺の雰囲気厳しさが増している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・売上はすべての部門で減少しており、特にレストラン部門で苦戦している。
	旅行代理店（従業員）	それ以外	・船、航空機などの値上げが顕著で、かつ先々の再値上げが予想されるため、団体旅行などの料金が確定できない状況である。しわ寄せはホテルや旅行代理店などの収益縮小で対処せざるを得ない。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人旅行の先行契約高が前年に比べ大きく下回っている。特に海外旅行、北海道・沖縄など遠距離の国内旅行では顕著に表れている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・運賃値上げの影響で、タクシー利用客が減っている。諸物価の値上げムードのなかで、客が夜の街へ外出する機会も減っているように見える。後部座席のシートベルト着用を敬遠する客も見受けられ、タクシーの利用離れが目につく。
	タクシー運転手	販売量の動き	・高齢者の通院のためのタクシー利用が非常に少なくなった。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の販売量、来客数共に減少傾向が続いている。生活費の増加が続くなか、客は単価の安い商品を選んでいる。割賦販売を行っている携帯各社は各店でイベントを実施しているが、来客数は伸び悩んでいる。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・食料品やガソリンなど生活必需品の相次ぐ値上げにより、家計支出の節約傾向は強まりつつある。この状況のなかで、ケーブルテレビ多チャンネルサービスの新たな契約数は徐々に鈍化傾向にある。
	その他レジャー施設（職員）	単価の動き	・3か月前と比較して客単価の低下幅が大きくなっている。特に飲食単価の落ち込みが大きい。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・高齢者の財布のひもは固くなってきている。先行きの不安からか、客は余分な物は一切買わない。また、車の通行量は極端に少なくなっており、客に外出を控える傾向が見られる。前倒しのバーゲンも、全く勢いが感じられない。
	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・ガソリン価格高騰のせい、郊外型の居酒屋や回転ずし等の売上が落ちてきている。消費者はマイカーでの外出を控えている。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・ガソリン価格の最高値は日々更新状態である。また、原材料の高騰による商品価格の値上げは多品目にわたっている。
	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数はそれほど低下していないが、客は欲しい商品だけしか購入しない。そのうえ価格には敏感で、高額品になるほど検討期間が長くなっている。
	住関連専門店（店長）	それ以外	・買物の優先順位では下位にランクされる耐久消費財は厳しい状況にある。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数は前年比1割近い減少となっている。団体や募集ツアーの客はもちろんであるが、バス1台程度のグループ客や個人客の利用が急激に減っている。また、ガソリン高の影響で、特に遠方からのマイカー客の減少が目立つ。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	税理士（所長）	受注量や販売量 の動き	・経営者にとって、原材料高の問題はあるが、原油高やサブプライムローン問題の混乱などには落ち着きが見られる。設備投資は一時的にストップしていたが、最近では予定どおり進行している企業も見受けられ、全体的には若干のプラス方向に動いている。
	変わらない	プラスチック製 品製造業（企画 担当）	受注量や販売量 の動き	・住宅の需要は伸びず、売上は苦戦している。一方、原材料価格は上昇が続いている。
	やや悪く なっている	一般機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・国内市場では原油高や仕入価格の高騰で原価が上 がっている。客も同じ条件であり、設備投資意欲が落 ちてきている。特に国内市場の落ち込みが激しい。
		電気機械器具製 造業（経理担 当）	取引先の様子	・受注量は落ちている。特に新製品の不在が響いて いる。
		精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・特に中・高価格帯の眼鏡フレームの受注量やリピ ート率が、以前に比べ落ちてきている。
		輸送業（配車担 当）	取引先の様子	・原油の値上げが続いており、燃料費などのコスト アップにより利益を上げにくい状況となっている。
		金融業（融資担 当）	受注量や販売量 の動き	・ガソリン価格の高騰がボディーブローのように各業 種に広がっている。建設資材や食品価格の高騰が景気 の先行き不透明感につながっている。
		金融業（融資担 当）	取引先の様子	・仕入価格の上昇により販売単価が上がり、増収の企 業が増えたが、反面、完全な価格転嫁ができないた め、増収減益の企業が多い。
		司法書士	取引先の様子	・個人の債務整理の相談が増加している。その理由と して、給与減額など所得の低下により、これまでの支 払が困難になったとの回答が多い。
悪く なっている	食料品製造業 （企画担当）	受注価格や販売 価格の動き	・高額商材の販売低迷、廉価品の販売増加により、中 心価格帯が安い方向へ移っている。その結果、売上 高、利益の減少が顕在化してきた。	
	繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注先の大企業の厳しい在庫管理や発注方針変更な どにより、受注が大幅に減少している。一方、コスト の上昇が顕著で、収益面で苦しい。	
	建設業（総務担 当）	それ以外	・建設資材価格の上昇が続いており、さらに鉄骨等の 納期が長期化している。採算、工期共に厳しい。	
	新聞販売店〔広 告〕（従業員）	受注量や販売量 の動き	・広告枚数、件数、売上高共に前年比過去最低のマイ ナスとなっている。当社の統計では約40業種のうち30 業種で前年比マイナスとなっている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・4～6月の需要件数は前年を下回っている。景気の 影響や新卒採用の増加も考えられる。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前に比べ情報誌1回の発行につき数10件単位 で求人数が減っている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・景気悪化の影響もあり、新規求人数は前年比減少し ている。特に建設業と製造業で減少幅が大きい。
		民間職業紹介機 関（経営者）	周辺企業の様子	・自動車関連の事業所で、事務系の派遣要員の契約満 了打切りがあった。また、県内大手建設会社の倒産が あり、周辺企業への影響が懸念される。
悪く なっている	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿量は前年の6割に落ち込んでいる。	